



### 第1回水防センターのあり方検討会開催報告

開催日時：令和7年11月12日（水）  
午前10時～12時

開催場所：摂津市役所 301会議室  
出席者数：15名

今回の検討会には、学識者や関係行政機関、摂津市関係課等の15名の委員にご出席いただきました。検討会では、水防センターのこれまでの検討経緯や周辺の状況等を皆さんと共有した上で、水防センターの災害時利用に必要な機能と施設規模について意見交換を行いました。



### 主な意見

検討会での主な意見は、以下のとおりです。

今後は、いただいた貴重な意見を踏まえ、災害時に必要な機能や施設規模を精査するとともに、平常時の利活用等も踏まえた検討を進めていきます。

項目	主な意見
水防センターの避難対象者について	・要配慮者は広域避難を前提とし、水防センターは一部の要配慮者も含め、全ての逃げ遅れた方の緊急避難先とした方が現実的だと考える。
必要な機能・規模について	＜トイレ・シャワー＞ ・健常者用と障がい者用のシャワールームの振り分けについて、平常時利用の想定も必要ではあるが、災害時の利用を考えると障がい者用を多く用意する必要があると考える。 ・トイレ・シャワールーム等は、要配慮者と介助者が利用可能な十分なスペースを確保する考え方も必要ある。 ＜平常時の利用＞ ・平常時利用を含めて多様な人の利用を想定して、機能を検討いただきたい。 ・平常時から集まる場として認識が広まると、地域住民の避難意識の向上にも有効と考える。
避難計画について	・水防センター建設にあわせて、担当部署と連携した個別避難計画や災害時要配慮者名簿の更新等のソフトの対策にも取り組んでいただけると、全国的にみても画期的な防災取組になると考える。 ・単なる想定避難者に見合う施設整備ではなく、避難情報の通知や要配慮者の把握といった付随する様々な問題についても併せて検討や取組ができればよいと考える。
設計時の留意点について	・会議室やカフェ等の平常時の利用を想定した場所も、車いすや介護者同伴など、ユニバーサルデザインを考慮した設計にいただきたい。
備蓄について	・備蓄スペースには限りがあるため、浄水機能つきのアダプターの活用等、様々なものと組み合わせながら備蓄スペースの面積を検討できるとよい。 ・自力での排尿排泄が難しい方に向けて紙おむつ等の備蓄があるとよい。

